

2023 年 10 月吉日

お客様各位

スリーエム ジャパン株式会社
本社 141-8684 東京都品川区北品川 6-7-29
コマーシャルブランディング&トランスポーターション事業部

3M™ ガラスフィルム見本帳 2023- の更新内容について

拝啓 貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、3M™ ガラスフィルム見本帳（3M™ Glass Finishes 見本帳）を改訂いたしますのでご案内申し上げます。詳細は下記をご参照ください。

今後もより良い製品の提供に努めてまいりますので、引き続き、3M™ ウィンドウフィルム及び 3M™ ファサラ™ ガラスフィルムをお引き立てくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

■製品名

3M™ ガラスフィルム見本帳 2023-（3M™ Glass Finishes 見本帳 2023- ）GLA-120-B

■受注開始日

2023 年 10 月 20 日（金）

受注後、順次発送いたします。

■主な変更点

別紙参照

ご不明な点がございましたら、当社販売担当者までお問い合わせください。

以上



スリーエム ジャパン株式会社

主な変更点

<本誌>

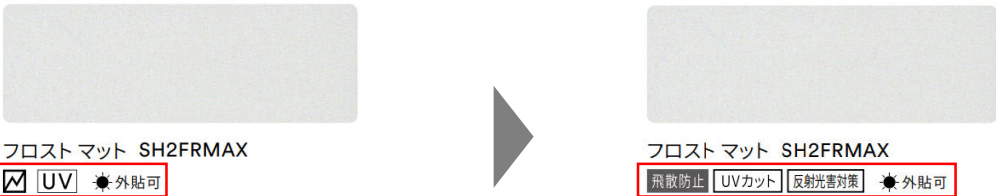
1. 再生紙と植物油インクを採用。裏表紙、本誌 P.1、P.5、P.21 にマークを追加



2. 機能表示を記号表示から文字表示へ変更し、「反射光害対策」を追加

「遮熱」と「飛散防止」の機能表示について、「遮熱」を2分類、「飛散防止」を3分類に再定義

・各製品紹介ページ



名称	省エネルギー(冷房時)		省エネルギー(暖房時)		安全		紫外線を遮蔽		反射光害対策	傷付きにくい 耐摩耗性ハードコート	屋外へ施工 外貼可
	遮熱	断熱	断熱	断熱	飛散防止	防犯	UVカット	防虫効果			
フロスト ブラック	○				◎		○		○		●
透明飛散防止フィルム SH2CLARX					◎		○	○		○	●
透明飛散防止フィルム SH4CLARX2					◎		○	○		○	●
ニュートラル35X	○				○		○			○	●
シルバー35X	○				◎		○			○	●
シルバー15X	◎				◎		○			○	●
フロスト マット					◎		○		○		●

「反射光害対策」を追加

・ P.18 機能一覧、P.48～P.49 製品仕様（「反射光害対策」を追加）

・ P.20 見本帳表示記号

機能表示マーク

- ☀ 遮熱
- 🔒 断熱
- 🛡 飛散防止
- 🌞 UV UVカット
- 🐛 防虫
- 🔒 防犯
- 📏 グラデーション
- ☀ 外貼り

機能表示マーク

- ☀ 遮熱 室内に入る日差しを低減する効果があるもの
- ☀ 遮熱 更に効果が高く遮蔽係数0.4未満 (JIS A 5759:2016記号A) のもの
- 🔒 断熱 暖房の熱を屋外に逃げていく効果があり、熱貫流率4.8W/㎡K以下 (JIS A 5759:2016 低放射フィルム) のもの
- 🛡 飛散防止 ガラスの飛散を低減する効果があるもの
- 🛡 飛散防止 JIS A 5759:2016の衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム、層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルムに適合するもの
- 🛡 飛散防止 JIS A 5759:2016のガラス貫通防止フィルムに適合するもの
- 🔒 防犯 「防犯性能の高い建物部品目録」に掲載されているもの
- 🌞 UV UVカット 紫外線が主な原因でおこる家具や商品などの日焼け (褪色) を低減する効果があるもの
- 🐛 防虫 紫外線に対して走行性がある虫に対してがあり、当社での実験において一定の効果を確認しているもの
- ☀ 反射光害対策 外壁ガラスに外貼りすることで、周囲の建物への反射を低減できるもの
- 📏 グラデーション デザインが製品ロールの幅方向にグラデーションしているもの
- ☀ 外貼り ガラスの屋外側への施工が可能なもの

3. 各製品紹介ページ 「飛散防止」の機能表示について、3 分類に再定義

（「遮熱」の機能表示については、2分類のままで変更ありません）

[illegible][illegible]

名称	蓄エナジー（消費時）	蓄エナジー（蓄電時）	安全	製品性能指標		優つてほしい		販売・施工
	蓄電量 ↑	蓄電率 ↑	燃焼効率 ↑	燃費 ↓	UVカット UV	防カビ性 ▲	防臭性・防カビコート	防汚性 ↓
熱貯蔵ファン			○	○	○	○	○	
NANO88 CP	○				○	○		
熱貯蔵ファン マット			○	○	○	○	○	
熱貯蔵ファン くらぶレー	○		○	○	○	○		

[illegible]

「飛散防止」の機能表示の分類の定義は以下の通りです。

- …ガラスの飛散を低減する効果があるもの
- ◎ …JIS A 5759:2016の衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム、層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルムに適合するもの
- …JIS A 5759:2016のガラス貫通防止フィルムに適合するもの

4. P.23～P.31 グラデーションの記載方法を変更



5. 裏表紙 保証規定の変更

<別冊 Product Information>

1. P.13～P.34 3M™ ファサラ™ ガラスフィルム グラデーション資料 追加

2. P.35 無窓階判定の「多積層」を削除

無窓階の取り扱いについて

建築物の地上階のうち、避難上又は消火活動上有効な開口部を有しない階のことを無窓階といい、通常階とは消防法上の取り扱いが異なります。建物の外壁ガラスに厚手や特殊な構造の窓ガラス用フィルムを貼付した場合その対象となることがあり、その扱いはフィルム基材の厚みと材質でフィルムA、Bに切り分けられています。下表フィルムAを施工しても無窓階の取り扱いに影響はありません。フィルムB、多層膜の取り扱いについてはWeb (http://www.windowfilm.jp/law/fire_fighting.html) をご確認ください。

尚、当該基準につきましては、東京防災救急協会発行の予防事務審査・検査基準にも掲載がありますが、貼付時の取り扱い方についての詳細は、各所轄の消防署に確認されることをお勧めいたします。

	フィルムA	フィルムB	多積層
NANO シリーズ	○		
ULTRA S800			○
SH15 シリーズ		○	
ULTRA S2200			○
NANO80CP		○	
WWB001		○	
上記以外	○		

多積層削除

無窓階判定

建築物の地上階のうち、避難上又は消火活動上有効な開口部を有しない階のことを無窓階といい、通常階とは消防法上の取り扱いが異なります。建物の外壁ガラスに厚手や特殊な構造の窓ガラス用フィルムを貼付した場合その対象となることがあり、その扱いはフィルム基材の厚みと材質でフィルムA、Bに切り分けられています。下表フィルムAを施工しても無窓階の取り扱いに影響はありません。フィルムBの取り扱いについては日本ウインドウ・フィルム工業会Webサイト (http://www.windowfilm.jp/law/fire_fighting.html) をご確認ください。

尚、当該基準につきましては、東京防災救急協会発行の予防事務審査・検査基準にも掲載がありますが、貼付時の取り扱い方についての詳細は、各所轄の消防署に確認されることをお勧めいたします。

	フィルムA	フィルムB
NANO シリーズ	○	
ULTRA S800		○
SH15 シリーズ		○
ULTRA S2200		○
NANO80CP		○
WWB001		○
上記以外	○	

ULTRA S800 と
ULTRA S2200 に
○を追加

3. P.41 3M™ ダイノック™ フィルム DG シリーズ (デザインガラスフィルム) 追加

4. P.42 副資材 追加

5. P.48 保証 保証規定と免責事項の変更